

発行: JVCシニアクラブ  
会長: 菅沼 喜久次



新幹線の車窓から(新富士駅付近で撮影)

### ■ご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お元気に新年をお迎えになられたことと拝察しお慶び申し上げます。

100年に一度といわれる、世界同時不況の様相を呈した今年の幕開けで、政治・経済・社会すべての分野において、先行き不透明な年明けとなりました。今年、米国では大統領交代による新政権が発足します。日本においても衆議院の解散・総選挙により新たな政権の発足が現実味を増してきており、この厳しい環境が少しでも改善されていくことを期待しているところです。

当シニアクラブは、昨年10月の定期総会に於いて、厳しい諸情勢の認識の上にとって、21年度の活動計画を確認いたしました。会員相互の交流と親睦を深め、そして私たちシニアの世代がより良い暮らしができるよう活動を展開していきたいと思っております。本年も皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ■NHK見学と放送懇談会が開催されました

11月4日(火)、11日(火)と2回にわたり神奈川支部主催によるNHKとの放送懇談会が開催され、両回ともに20名の皆様が参加されました。



N退協の役員を囲んでの懇親会(NHK職員食堂にて)

これは、NHK退職者で組織される「NHK退職者全国協議会(略称: N退協)」とJVCシニアクラブとの連携で行なわれたものです。N退協の顧問の方から最近のNHKを取巻くいろいろな情報の紹介があり、番組を担当するディレクターやプロデューサーから制作に当たった苦労話などをうかがいました。

引続き、スタジオ見学と当日午後8時からNHKホールで中継放送される「歌謡コンサート」のカメラリハーサル(午後5時から45分間)の見学を行い、懇親会を設けました。その中で参加者からNHKに対して公共放送の意義を述べたり、番

組内容に対して高齢者向け番組を増やしてほしいという要望や、民放とは違う NHKらしさを求める提案などもあって、活発な意見交換が行なわれました。

なお、「N退協」では職員 OBとして NHK 広報活動の一助を担っており、発行する機関紙にはこの懇談会の様子が記載され、関係部門の皆様に紹介されています。

## ■トピックス

元日以来、晴天が続き穏やかな新年でした。

正月恒例の大学箱根駅伝は、5 区走者の劇的な大逆転で東洋大学が往路優勝し、その勢いのまま総合優勝を果たしました。早稲田ファンにとっては悔しい思いもあったと思いますが、テレビの前に釘付けとなった方も多かったことでしょう。

一方で、100 年に一度の大不況により職を追われ、住む家も失ってしまった多くの非正規労働者のことも何度かテレビで紹介されていたのも事実です。

日比谷公園では「年越し派遣村」が設置され、多くのボランティアの支援を受けて新年を迎えた人たちがいました。

昨年の世相を表す漢字は“変”。一昨年の“偽”に続き、あまり喜ばしい文字ではありません。毎年その文字を京都清水寺の大舞台で揮毫する森清範貫主のテレビに映るその顔は苦虫を噛みしめているようでした。



彼は別のインタビューに答え、次のような字を書きたいと言っていました。“恕”(じょ)、これは「心の底から思いやる、相手の気持ちになるという意味」だそうです。かつては“愛”という字が書かれた年もありました。

政治の混乱、景気の低迷、社会不安と変になってしまった世の中を変えていくには、皆がこのような字に表された暖かい気持ちを持つことが大切でしょう。次に選ばれる一文字は森貫主の晴れ晴れとした顔で書かれて欲しいものです。

## ■事務局から

12月9日(火)、今年度第1回目のシニアクラブ幹事会が開催されました。

ここでは、神奈川、東京、千葉、茨城、群馬の各地方 JAM の関連行事の報告や、これからの JVC シニアクラブの年間行事計画の検討が行なわれました。



幹事会での報告確認の様子

直近の本部行事企画として、3月に「国立演芸場」公演見物と「春の懇親交流会」を開催することとしました。参加要領につきましては別紙の案内に従ってお申込ください。定員に達し次第締め切りとなりますのでお早めに。

報告が前後しましたが、神奈川支部の NHK 見学会では現会員からシニアクラブ未加入者への積極的な呼びかけで10名の方々が参加され、新たな会員となりました。このようにして年間計画の実施を通じて更に多くの皆様に当クラブの活動をご理解いただき、会員増につとめてまいりたいと思っております。

お友達や知り合いの方で未加入の方がいらっしゃいましたら、是非ともこの機会に参加呼びかけをしてください。

(文責: 田代 周)